



海と共

発行 宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



● 南三陸町：伊里前漁港

主な内容

- 水産関係受章者祝賀会開催
- 第14回全国青年・女性漁業者交流大会開会
- 平成20年度水産青年フォーラム開催
- 平成21年春漁（いさだ・小女子）の操業状況
- 共販情報
- 主な一般経過
- 第16回経営管理委員会開催
- 第17回経営管理委員会開催
- 第18回経営管理委員会開催
- 第19回経営管理委員会開催
- 第20回経営管理委員会開催
- 平成20年度第2回臨時総会開催
- 「ライフジャケット着用推進員」初の連絡会議開催
- 「食アメニティ・コンテスト」開催
- 「JFみやぎ女性部連絡協議会」木村会長へ要望書を提出

水産関係受章者祝賀会開催



受章者祝賀会

去る2月6日、仙台市：江陽グランドホテルにおいて、本県水産系統5団体主催による「水産関係受章者祝賀会」が開催されました。

この祝賀会は毎年開催されておりましたが、平成18年の低気圧被害、19年のJF宮城の合併等により3年ぶりの開催となりました。

冒頭、発起人代表として挨拶に立った宮城県漁協の阿部理事長は受章者の栄誉を讃え「受章者の皆様には、それぞれの立場にあって漁協系統事業へ並々ならぬご尽力を頂き、この度の受章は、そのご労苦に報いるためのものであり、私達、水産関係に従事する者といたしましても名誉なことであり、心から敬意と感謝を申し上げます。これからも健康に留意され、水産業界の振興発展にお力添え、ご指導をお願い申し上げます。」と受章者の労をねぎらいました。

続いて漁業共済組合の佐々木組合長より記念品の贈呈があり、その後、来賓を代表して宮城県農林水産部の伊東部長より「栄えある受章を心からお喜び申し上げます。豊かな見識と長年の経験をいかし、本県水産業界の振興と地域の発展のためご尽力を頂き、改めて敬意と感謝を申し上げます。本県水産業界の育成、発展になお一層のご精進を賜りますようお願い申し上げます。」と祝辞を述べられました。

これに答えて、受章者17名を代表し尾形一男氏が「受章祝賀会を開催して頂き、心から厚く御礼を申し上げます。受章は一重に皆様方の格別のご厚情の賜と重ねて御礼を申し上げます。本日、賜りましたご好意を肝に銘じ、今後の系統運動に邁進する所存であり、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。」と謝

辞を述べられました。

その後、漁船保険組合臼井組合長の音頭で乾杯を行い祝宴となりました。祝賀会は受章者のこれまでの、ご労苦をねぎらい終始和やかに進み、最後に漁業信用基金協会の鵜飼理事長が閉会挨拶と一本締めを行い宴が閉じられました。

平成18年受章者

【秋の叙勲】

旭日小授章	水 上 忠 夫 殿
旭日双光章	尾 形 一 男 殿

【文化の日知事表彰】

県治功労	高 橋 長 偉 殿
産業功労	小野寺 孫 一 殿
産業功労	鈴 木 忠 吉 殿
民生安定功労	尾 形 耕 一 殿
調査統計功労	小野寺 文 雄 殿

【全漁連会長表彰】

漁協運動功労者	木 村 稔 殿
---------	---------

平成19年受章者

【文化の日知事表彰】

産業功労	木 村 稔 殿
産業功労	阿 部 宗 殿

【農林水産大臣表彰】

功績者表彰	高 城 稔 殿
-------	---------

【全漁連会長表彰】

漁協運動功労者	赤 間 東 治 殿
---------	-----------

【大日本水産会長表彰】

水産功績者	津 田 嘉 男 殿
水産功績者	渡 邊 丹 治 殿

平成20年受章者

【春の叙勲】

旭日単光章	我 妻 親 二 殿
-------	-----------

【秋の褒章】

黄綬褒章	阿 部 宗 殿
------	---------

【文化の日知事表彰】

産業功労	三 浦 弘太郎 殿
地方自治功労	鈴 木 武 志 殿

【全漁連会長表彰】

漁協運動功労者	綿 元 男 殿
---------	---------

【大日本水産会長表彰】

水産功績者	小野寺 文 雄 殿
-------	-----------

第14回全国青年・女性漁業者 交流大会開催、 本県代表者が栄えある賞をダブル受賞



農林水産大臣賞を受賞された津田さん(左から二人目)

去る、3月5日JF全漁連主催による「第14回全国青年・女性漁業者交流大会」が、東京・虎ノ門パストラルにおいて開催され、全国より51グループが日頃の研究・実践活動等を発表いたしました。

本県からは、昨年8月に開催された「宮城県青年・女性漁業者交流大会」にて最優秀賞を受賞された、〈矢本漁協矢本浅海漁業研究会の津田晃樹さん〉、〈JFみやぎ網地島支所女性部の小野寺たつえさん〉の2名が、これまでの取り組みの成果を、全国に対し発信いたしました。

津田晃樹さんは、【ノリ三期作の経済的な評価と今後の課題～ノリの品質と単価のさらなる向上を目指して～】をテーマに、近年の燃油・資材等の高騰を初めとしたコスト高による厳しい漁家経営を打開するため、これまで二期作で行われてきたノリ養殖業を、種網をこまめに入れ替える三期作に転換し、付加価値のある良質な乾ノリを生産することにより、育成経費等のコスト負担を製品価格の上昇で補い漁家経営の安定に努めるとともに、ブランドとして定着しつつある現状等を発表いたしました。

また、小野寺たつえさんは、【おいでよ、網地島へ!～活気ある島の復活を目指して～】をテーマに、離島であり交通が不便であるがゆえ、子供の進学を契機に島外への引越しが相次いだため、島民は著しく減少し高齢化の割合は島民の約70%弱にも達し、網地島の存続に不安を抱える状況の中、かつての活気を取り戻すべく

女性部は立ち上がり、閉校の有効活用のため設立された網小医院での高齢者支援活動、島民交流行事の一環である(ふるさと演芸会)、島外の親子達との交流を深める(あじ島冒険楽校)への参画等、地域活性化のためこれまで取り組んできたボランティア活動等の現状を発表いたしました。

本県の発表はいつも審査員の高い評価を受け、宮城県漁協青年団体連絡協議会を代表して発表した津田さんは、漁青連としては平成11年以来となる農林水産大臣賞を、宮城県女性部連絡協議会を代表して発表した小野寺さんは、女性部としては2年連続となる水産庁長官賞を受賞いたしました。



発表する小野寺さん

平成20年度水産青年 フォーラム開催

宮城県漁協青年団体連絡協議会(会長 佐藤一)は、2月16日、仙台市(秋保温泉ホテル岩沼屋)において「平成20年度水産青年フォーラム」を開催しました。当フォーラムには、これからの漁業を担っていく、各地区の青年部及び研究会の漁業者のみなさん、さらには宮城県、宮城県漁協・宮城県漁業信用基金協会・共水連東北事業本部宮城支店の役職員も出席し、総勢154名が参集し開催されました。

初めに、主催者を代表して、佐藤会長が「活力に溢れた宮城の水産業を構築するため、将来の中核を担う我々が、日頃考えている問題や改善点等を積極的に討論するため、本年も開催した。」と挨拶を行い、続いて、宮城県漁協の阿部理事長が「激変する漁業情勢の中で、若い力と新しい発想をフルに活用し、将来を切り開い

てほしい。また、山積する諸問題の解決に向けて力を合わせて取り組んで行こう。」と、来賓を代表して挨拶を述べました。



挨拶する佐藤漁青連会長

今年の基調講演は、漁師がどんな思いで海に関り、どんな暮らしをして、どんな悩みを抱えているのか等をテーマに、全国津々浦々の漁村を旅し、漁村・漁業の可能性等を模索・研究している、作家の吉村喜彦氏を講師に招き「海に生きる・海を守る日本の漁師」をテーマに講演をいただきました。

吉村氏は、漁師を取材した豊富な経験をとおり、「全国には逆境に屈することなく、知恵と工夫を発揮して頑張っている漁師がたくさんいる。みなさんも問題等に直面した場合は、漁師ならでわの勘と経験を生かして、難局を乗り越え道を切り開いてほしい。」と若手漁業者に対し、熱いエールと励ましの言葉を投げかけました。

この後、会員はそれぞれ<のり部門>、<かき部門>、<わかめ・こんぶ・磯根資源部門>、<漁船漁業・資源管理型部門>、<ほたて・ほや部門>の各分科会に分れ、自分たちが日々携わっている漁業について意見を交わし、情報の交換を行いました。さらに、昨年に引き続き、宮城水産高等学校からの参加要請に基づき2名の先生の参加があり、さらには塩釜市水産課、女川町農林水産課からの参加も受け、漁業者との意見交換会に加わりました。

翌日は、拡大役員会を開催し、県漁青連の平成21年度の年間スケジュールの検討や、これからの当フォーラムの開催のあり方を協議するなど、より良い方向にむけて県連役員と各青年部が意見を交わし一切を終了しました。

平成21年の春漁(いさだ・小女子)の操業状況

いさだ漁の漁獲枠の設定については、例年、いさだを漁獲する関係県(宮城・岩手・福島・茨城)の代表漁業者間にて、在庫及び流通状況等を勘案のうえ、4県総漁獲枠に基づいた各県漁獲枠を設定しており、本年においても下記について合意し、操業に臨むことといたしました。

宮城県	岩手県	福島県	茨城県	4県合計
15,000トン	15,000トン	3,000トン	3,000トン	36,000トン

前年は、4県総漁獲枠で47,500トン(漁獲実績41,445トン・平均単価48.6円)、本県においては19,500トン(漁獲実績19,327トン・平均単価50.7円)の漁獲枠であったものが、本年は4県総漁獲枠を36,000トン、本県枠については15,000トンと大幅な減枠となりました。

このような措置に踏み切った背景には、景気低迷によるいさだ消費の減退が大きく影響したことにより、前年を大幅に上回る越年在庫等が発生した状況等を踏まえ、次年度以降の操業も視野にいれ、代表漁業者総意のもとに取り組むことといたしました。

尚、操業開始日については、昨年より1日早い3月12日(木)からの操業予定としておりましたが、あいにく操業に適した天候等に恵まれず、連続3日間の休漁となり、実質的には3月16日(月)からのスタートとなりました。

一方、小女子漁については、数年間低調な水揚げで推移しておりましたが、昨年は7,000トンを超える漁獲量となり、水揚げ金額も約8億円を記録し6年振りに豊漁と言える漁期でありました。

本年は既に常磐地区・三河湾・伊勢湾・大阪湾・播磨灘などで操業が始まっておりますが、全ての海域が低調な漁獲で推移しており、本年の加工用小女子の価格は期待できるような状況下にあります。小女子は夏眠期の親魚の資源状況及び1月以降の仔魚の分布状況によっては、漁獲数量に大きな変動があります。

操業期間については、沖底業界との、いかなる漁業等の操業調整に関する覚書(平成2年締結)により、4月1日から5月20日(10日間延長可)となっておりますが、本漁期につい

ては、沖底業界のご理解により3月25日(水)から操業開始となりました。

共 販 情 報

海苔の秋芽生産は、高水温や栄養塩の低下、赤グサレなどの影響で生産が伸び悩みましたが、年明け以降、養殖環境の好転により冷凍種網での生産が順調に推移し、特に2月中旬以降では、4千万枚を越える上場が続き、3月に入ってから4千5百万枚を超える上場が続いております。

価格については、秋芽生産平均価格(11~12月)@896円/100枚でありましたが、1月では平均価格@965円/100枚、2月では平均価格@963円/100枚と秋芽の平均価格を上回りました。

3月に入り各海域で色落ち傾向が見受けられたことから、3月6日の入札会での平均価格は751円/100枚と平均価格を下げておりますが、漁期当初からの平均価格は@924円/100枚で、昨年同期平均価格761円/100枚を163円/100枚上回る結果となっております。

平成20年度漁期での上場枚数は、3月13日現在5億7百万枚で、昨年同期上場枚数5億1千3百万枚より幾分少ないものの、金額においては45億6千9百万円となり昨年同期38億4千7百万円を7億円上回る金額となっております。

これから生産される海苔については、色落ちが心配されますが、下物に対する需要が多く、下物価格が安定しており、これからの生産枚数の伸びに期待するところであります。

鮮かきの2月末までの取扱(かき生産年度)は、数量で3千6百9トン、金額で38億1千9百万円の実績となり、前年数量4千34トン、金額47億1千2百万円で、前年を数量で424トン、金額で7億1千万円下回っております。

今漁期は卵持ちかきの影響で、かき剥き開始日が遅れたことや急激な景気後退により、消費動向が大きく様変わりしたことで消費者の低価格志向の高まりと消費マインドの冷え込みの影響を受けたことが、一因として考えられます。

今後、加工向けとしての販売が主力となりますが生産者にとって採算が取れる価格での流通に期待するところであります。

鮑の今漁期の取扱は干鮑での需要の落ち込み等の影響で価格が低迷した上に、漁期中、時化の日が続き開口ができず、開口期間の延長を図り水揚げの増高に努めましたが、効果はさほど表れず水揚げ数量の大幅な減少となり、生産者にとって厳しい漁期となりました。

20年漁期2月末実績は数量114トン、金額5億2千6百万円の実績でした。前年実績は、数量154トン、金額9億9千8百万円であったことから数量で40トン、金額で4億7千百万円下回りました。

ホタテ共販は、成育が順調であったことから生産量は2月末現在数量で11,884トン、金額で30億4千5百万円となり、前年度末実績9,9931トン、金額27億19百万円を上回る実績となりました。3月末の予想実績は数量で12,500トン、金額で32億円を超える水揚げが見込まれます。

2009年シーズンのわかめ生産は成育環境に恵まれ順調に推移したことから第1回入札会(2月5日開催)には主力の塩蔵若布が近年にない111トンの上場数量となり、昨年の第1回入札会での上場数量を大幅に超える上場となりました。塩蔵若布の平均価格は6,340円で、前年6,828円より500円安い結果となりました。

鳴門産の産地偽装問題の影響などで高騰した昨年の反動が心配されましたがまずまずの滑り出しとなりました。

二回目以降の入札会においても、上場数量が昨年の上場数量を上回っている中で、価格は平均6,000円台前半で販売されました。

内湾物が終盤を迎えますがこれから本格化する外洋物が生産されることから、品質と価格の安定に期待するところであります。



平成20年度 共販品目別取扱実績

1 〔乾海苔〕

平成21年3月19日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (枚)	535,186,400	540,904,500	99
金 額 (円)	4,745,079,889	3,969,509,034	120
平均単価 (100枚)	887	734	121

2 〔鮮かき〕

平成21年3月19日現在

	気仙沼総合支所			石巻総合支所		
	数量(kg)	金額(円)	平均単価	数量(kg)	金額(円)	平均単価
累 計	810,237	907,500,076	11,200	2,465,898	2,446,257,650	9,920
前年同期	841,021	987,024,076	11,736	2,755,158	3,122,803,260	11,334
前年対比	96%	92%	95%	90%	78%	88%

	塩釜総合支所			合 計		
	数量(kg)	金額(円)	平均単価	数量(kg)	金額(円)	平均単価
累 計	556,000	579,703,710	10,426	3,832,135	3,933,461,436	10,264
前年同期	524,770	603,250,530	11,496	4,120,949	4,713,077,866	11,437
前年対比	106%	96%	91%	93%	83%	90%

※平均単価は10kg

3 〔鮑〕

平成21年2月28日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (kg)	114,210	154,976	74
金 額 (円)	526,338,827	998,120,073	53
平均単価 (kg)	4,609	6,441	72

4 〔帆立貝〕

平成21年2月28日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (kg)	11,884,140	9,992,591	119
金 額 (円)	3,045,826,443	2,718,944,228	112
平均単価 (kg)	256	272	94

5 〔塩蔵若布〕

平成21年3月11日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (kg)	866,190	625,041	139
金 額 (円)	483,450,264	469,667,415	103
平均単価 (kg)	5,581	7,514	74

主 な 一 般 経 過

- 1 / 28 用船事業事務説明会〔浦戸東部・亘理〕
- 29 第6回支所長及び第3回経理担当者会議
- 30 第 1 0 回本所緊急かき部会
第 1 0 回乾のり入札会 (B-3)
- 2 / 2 第 4 回監事会
第 2 回地区別ブロック会議〔南部〕
矢本漁協 訪問
- 3 第 2 回地区別ブロック会議〔中部〕
雄勝湾漁協 訪問
- 4 第 2 回地区別ブロック会議〔北部〕
- 5 わかめ初入札会
ギンザケ生産段階品質管理
ガイドラインに係る研修会
- 6 第 1 1 回乾のり入札会 (A-4)
第 1 7 回経営管理委員会
水産関係受賞者祝賀会
- 9 第 3 回ほたて部会
- 10 職員採用試験 (追加)
- 13 第 1 2 回乾のり入札会 (B-4)
常勤理事会
組合員資格審査に係る事務説明会
- 14 第 2 回わかめ入札会
- 18 第 1 2 回理事会
宮城県小型漁船漁業部会
第 1 回たら延縄漁業委員会
気仙沼総合支所 かき生産者懇談会
女性部 第 3 回地域住民と漁村女性の
交流事業〔石巻市東部支所女
性部〕
- 19 石巻総合支所第1回総合支所運営委員会
- 20 第 1 3 回乾のり入札会 (A-5)
気仙沼総合支所 かき生産者懇談会
- 22 志津川支所第5回南三陸志津川かき祭り
- 23 第 3 回わかめ入札会
気仙沼総合支所秋さけ刺し網等漁業委員会
- 24 気仙沼総合支所 かき生産者懇談会
宮城県小型漁船漁業部会 漁業者懇談会
- 25 志津川支所 南三陸町地方卸売市場
新春業務懇談会
- 26 第 1 8 回経営管理委員会
- 27 第 1 4 回乾のり入札会 (B-5)
平成 2 1 年漁期伊達のぎん関係支所
関係組合並びに生産者会議
第 2 回仙台湾小型漁船漁業部会
- 3 / 2 南部地区総合支所長・支所長会議
- 3 第 4 回わかめ入札会
支所運営打合せ〔山元支所・閑上支所〕
宮城県資源管理型漁業実践協議会
第 9 回監事会
- 4 北部地区総合支所長・支所長会議
中部地区総合支所長・支所長会議
平成 2 0 年度資産自己査定
(仮査定)の事前監査
- 5 2 J F 合併事務説明会
第 7 回総合支所合同のり部会
- 6 第 1 5 回乾のり入札会 (A-6)
志津川支所 春漁受入懇談会
- 7 ホタテ販促イベント
- 9 第 1 回伊達のぎん買受人会議
雄勝町東部支所女性部
第 4 回地域住民と漁村女性の交流事業
- 10 仙台湾小型漁船漁業部会
代表漁業者意見交換会
- 11 第 5 回わかめ入札会
第 1 1 回本所かき部会
常勤理事会
宮城県小型漁船漁業部会
第 4 回ランプ網漁業委員会
宮城県小型漁船漁業部会 すくい・船
びき網の操業に係る北部地区〔地区代
表者等説明会〕
- 12 市税取扱検査
- 13 第 1 9 回経営管理委員会
第 1 6 回乾のり入札会 (B-6)
- 14 宮城県小型漁船漁業部会
第 2 回たら刺網漁業委員会
- 16 閑上支所のり共同加工施設建設打合せ
- 17 女性部起業化学習会
石巻総合支所第 2 回中部地区
購買事業プロジェクト会議
平成 2 1 年度第 1 次計画検討会
平成 2 2 年度かき共同処理施設建設打合
- 18 第 1 3 回理事会
第 6 回わかめ入札会
国庫金事務取扱説明会
- 19 第 1 7 回乾のり入札会 (A-7)
新規採用者研修
- 23 第 8 回総合支所合同のり部会
女性部第 4 回役員会
- 24 平成 2 0 年度第 2 回臨時総会
第 2 0 回経営管理委員会

第16回経営管理委員会開催

宮城県漁協は1月27日、本所に於いて平成20年度第16回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の9件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 第3・四半期事業実績
3. 共済事業実績報告
4. (株)女川魚市場第3・四半期事業実績
5. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
6. 融資状況
7. 第3回内部監査結果報告
8. 諸方針の制定
9. 個人情報取扱規程の制定に伴う関連手続き等の制定

続いて議事に移り、次の8議案が提案説明されました。

第1号議案

大谷本吉支所組合員資格審査委員会委員の変更に関する件

第2号議案

組合員資格の決定に関する件

第3号議案

農林中央金庫への後配出資の協力に関する件

第4号議案

農林中央金庫への永久劣後ローンの貸付に関する件

第5号議案

個人情報取扱規程の制定に関する

第6号議案

余裕金の運用方針の制定に関する件

第7号議案

組織及び職制規程の一部変更に関する件

第8号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、大谷本吉支所の組合員資格審査委員会委員の辞任に伴う補欠の委員について、委嘱することの承認を求めました。第2号議案は、第2回組合員資格審査委員会の審査に基づき決定することの承認を求めました。第3号議案は、農林中央金庫において、昨年来の未曾有の金融市場危機を受け、大規模な市場混乱が継続するなかにおいても、安定的な収益還元ができる財務基盤を構築するために、自己資本増強

の取組を進めており、全国の預金施設利用会員に対し後配出資の要請があり、これに対し、当組合の財務状況を勘案し、協力することの承認を求めました。第4号議案は、農林中央金庫において、自己資本増強の取組を進めており、永久劣後ローンの借入要請があり、これに対し、当組合の財務状況を勘案し、貸出することの承認を求めました。第5号議案は、現行の「個人情報保護規程」を金融庁並びに水産庁が定める「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」に掲げる個人情報保護に関する法律に則した規程に替えるものであり、現行の「個人情報保護規程」を廃止し、「個人情報取扱規程」を制定することの承認を求めました。第6号議案は、定款に基づき、「平成20年度余裕金の運用方針」を制定することの承認を求めました。第7号議案は、未整備であった余裕金運用規程の職務権限を変更することの承認をもとめました。第8号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第17回経営管理委員会開催

宮城県漁協は2月6日、仙台：江陽グランドホテルに於いて平成20年度第17回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、次の議案が提案説明されました。

第1号議案

合併（合併仮契約書・同附属覚書・合併及び事業経営計画書（案）を含む。）に関する件

第1号議案は、本組合が平成21年4月1日をもってする宮城県漁協、雄勝町雄勝湾漁協、矢本漁協との合併並びに平成21年1月22日付けで締結した合併仮契約書・同附属覚書及び事業経営計画書の承認を求めました。

以上審議され、議案は可決承認されました。

第18回経営管理委員会開催

宮城県漁協は2月26日、本所に於いて平成20年度第18回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の7件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 全漁連期中監査結果報告
3. 第3回監事監査結果(子法人)報告
4. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
5. 融資状況
6. 平成20年度組合脱退予定者
7. 受託事務取扱要領の制定

続いて議事に移り、次の6議案が提案説明されました。

第1号議案

第2回監事監査結果に対する回答に関する件

第2号議案

出資口数の減少に関する件

第3号議案

融資決定に関する件

第4号議案

矢本漁業協同組合の資産の取得に関する件

第5号議案

100万円以上のリースに関する

第6号議案

志津川支所組合員資格審査委員会委員の変更に関する件

第1号議案は、規程に基づき、第2回監事監査結果に対して回答することの承認を求めました。第2号議案は、定款に基づき、出資口数減少願いがあるので、減資することの承認を求めました。第3号議案は、定款に基づき、貸出案件調書(大口貸出先:3億円以上)のとおり貸付することの承認を求めました。

第4号議案は、合併契約書に基づき、資産の取得及び処分承認を求めました。第5号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。第6号議案は、志津川支所組合員資格審査委員会委員の辞任に伴う、補欠の委員を委嘱することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第19回経営管理委員会開催

宮城県漁協は3月13日、石巻ルネッサンス館に於いて平成20年度第19回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の3件が報告されました。

1. 平成20年度見込実績

2. 資産自己(仮)査定の結果報告
3. 漁業経営構造改善事業年次計画

続いて議事に移り、次の6議案が提案説明されました。

第1号議案

平成20年度第2回臨時総会招集に関する件

第2号議案

平成20年度第2回臨時総会提出議案に関する件

第3号議案

固定化債権の償却に関する件

第4号議案

諸規程の一部変更に関する件

第5号議案

志津川支所波伝谷給油所の事業計画に関する件

第6号議案

検査員協会開設準備室及び加工販売準備室の設置に関する件

第1号議案は、平成20年度第2回臨時総会を招集することの承認を求めました。第2号議案は、平成20年度第2回臨時総会へ提出する議案の承認を求めました。第3号議案は、「貸倒償却及び貸倒引当金の計上基準」に基づき、貸出償却処理することの承認を求めました。第4号議案は、平成21年4月1日を合併日とする、雄勝町雄勝湾漁協、矢本漁協との合併に係る定款の変更等に伴い、関連する諸規程を変更することの承認を求めました。第5号議案は、規程に基づき、志津川支所波伝谷給油所の開設にかかる事業計画の承認を求めました。第6号議案は、検査員の育成・確保並びに合理的な検査員の配置に対処するための専門部署として、検査員協会準備室を、また、本組合での加工場建設も含め加工販売等の事業運営の検討部署として加工販売準備室を経営事業部に設置することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第20回経営管理委員会開催

宮城県漁協は3月24日、石巻市ビッグバンに於いて平成20年度第20回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の6件が報告されまし

た。

1. 一般経過報告
2. 農林水産省常例検査及び宮城県常例検査結果報告
3. 平成21年度監事監査計画
4. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
5. 融資状況
6. 平成20年度組合脱退予定者

続いて議事に移り、次の4議案が提案説明されました。

第1号議案

融資決定に関する件

第2号議案

臨時職員就業規程の制定に関する件

第3号議案

諸規程の一部変更に関する件

第4号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、定款に基づき、貸出案件調書（大口貸出先：3億円以上）のとおり貸付することの承認を求めました。第2号議案は、臨時職員就業規程を制定することの承認を求めました。第3号議案は、諸規程（資産自己査定実施要領、貸倒償却及び貸倒引当金計上基準、自己資本比率算出要領）について、一部改正することの承認を求めました。第4号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

平成20年度第2回臨時総会開催

宮城県漁協は3月24日、石巻市ビッグバンに於いて平成20年度第2回臨時総会を開催しました。議事は表浜支所木村千之総代を議長に選出し会議は進められ、次の1議案が審議されました。

第1号議案（特別決議事項）

定款の一部変更に関する件

第1号議案は、平成21年4月1日を合併日として、雄勝町雄勝湾漁協、矢本漁協と合併することに伴い、定款及び定款附属書役員選任規程並びに定款附属書組合員資格審査規程の一部を変更することの承認を求めました。

以上審議され、可決承認されました。

「ライフジャケット着用推進員」 初の連絡会議開催 〈宮城県漁船海難防止協議会〉



会議中のLGLの皆さん

平成21年3月16日、宮城県漁協において、当協議会及び石巻海上保安署共催による「第1回石巻地区ライフジャケット着用推進員連絡会議」を開催、ライフジャケット着用推進員（ライフ・ガード・レディーズ「LGL」）44名と関係者を含め53名が出席しました。石巻海上保安署長は、「漁業者のライフジャケット常時着用を推進するため、73名のLGLを委嘱して地域一体で取組んだ結果、皆様の積極的な活動から着用率が飛躍的に向上、マスコミにも取上げられ、水産県宮城から本取組みが全国に発信されたことは、大変、意義深く、今後も、着用率100%を目指し関係者の更なる連携強化等が必要である。」と挨拶されました。

また、LGLを代表して、清水みや子雄勝町東部支所女性部長は、「海の事故による犠牲者を無くす為、地道で根強い推進活動を継続してライフジャケット着用率100%を目指します。」と決意を述べられました。

その後、石巻海上保安署から石巻地区のライフジャケット着用率（必ず着用）は、平成19年30.7%、20年69.3%と大幅に向上したこと、推進員の現状と活動状況、推進員制度等の報告があり、LGLとの意見交換では、各地域の取組と今後の課題等活発な発言が相次ぎ、今後のライフジャケット着用推進に取組むうえで有意義な会議になりました。



お揃いのユニフォームで記念撮影するLGL

《ライフジャケット着用推進員概要》

女性ライフジャケット着用推進員は、石巻海上保安署が平成18年に雄勝町東部漁協女性部3名を初めてLGLに委嘱、現在、同署管内で73名、宮城県内で202名がライフジャケット着用率100%を目指して活動しています。

女性によるライフジャケット着用推進運動は、ライフ・ガード・レディース(LGL)の愛称で全国に普及、全国で610名のLGLが誕生しています。

皆様の家庭から、地域から海難事故による不幸な犠牲者を出さないためにも、ライフジャケット常時着用、LGLへの参加等本推進活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

「食アメニティ・コンテスト」開催 大谷本吉支所女性部が栄えある賞を受賞

去る、3月11日、2008年度「食アメニティ・コンテスト」(主催・農水省、(財)農村開発企画委員会)の表彰式が東京都港区「ニッショーホール」において開催されました。

「食アメニティ・コンテスト」は、農山漁村の女性グループ等の自主的活動によって地域の特産物を活用した起業活動を行い、それにより地域づくりに貢献している活動事例について表彰を行なうものであります。

この度、水産では、大谷本吉支所女性部「おばちゃん倶楽部」が、未利用海産物だったワカメの中芯をはじめ、浜値の安いサケ、余剰農産物を活用した加工品を製造・販売。また、大人気の「黄金まんじゅう」や「浜福神漬け」など、半農半漁の地域性を生かした商品開発の取組みに対し、高い評価を受け、栄えある農林水産大

臣賞を受賞いたしました。

JFみやぎ女性部連絡協議会 〈木村会長へ要望書を提出〉



木村会長に要望書を提出する畠山会長

JFみやぎが設立され、早2年が経過しようとしておりますが、支所運営委員会委員への女性部員の登用が、まだ数支所のみである現状を踏まえ、女性部連絡協議会(会長：畠山悦子)は、去る3月23日、木村経営管理委員会会長へ要望書を提出いたしました。

当日は、畠山会長を初めとした6名の女性部役員が漁協本所を訪れ、女性部が担っている役割等の重要性を改めて木村会長へ伝えるとともに、早急に支所運営委員会委員として女性部員を登用するよう要請活動を実施いたしました。

《要請活動に参加した役員》

- | | | |
|--------|-----|-----|
| ・会 長 | 畠 山 | 悦 子 |
| ・副 会 長 | 江 刺 | みゆき |
| ・副 会 長 | 渡 辺 | 静 枝 |
| ・監査委員 | 木 村 | 艶 子 |
| ・委 員 | 尾 形 | 里 子 |
| ・委 員 | 蜂 谷 | ひで子 |



